



内閣府特命担当大臣

前原誠司

もに、沖縄をめぐる諸課題に

ついて率直な意見交換を行う

ことができました。

また、沖縄戦没者墓苑の参

拝等を通じ、先の沖縄戦にお

ける県民の皆様の筆舌に尽く

し難い苦難とともに、平和の

大切さへの思いを新たにいた

しました。

この度、鳩山内閣において沖
縄を担当する内閣府特命担当大
臣に就任いたしました。

就任後、できるだけ早く現地
に赴き、地元の方々と意見交換
させていただきたいと考え、10
月3日から4日にかけて、沖縄
を訪問いたしました。

今回の訪問では、仲井眞知事
とお会いし、就任の御挨拶とと
を始め多くの首長・議長さん等

の皆様の御労苦、すなわち狭
い県土に我が国の米軍施設・
普天間飛行場の視察では、
私自身、過去に何度も足を運
んでおりますが、市街地に隣
接して広がる姿を目にし、一
日も早く移設して、住民の安
全を確保しなければならない
と改めて実感した次第です。

私は、初当選以来、沖縄の
基地問題に取り組んでまいり
ました。その経験から、県民
も必要です。

Greeting

就任の御挨拶

い県土に我が国の米軍施設・

区域の約75パーセントが集

中している現実を考える時、

我々の責務としてこれら施

設・区域の縮小に取り組んで
いかなくてはならないという
思いを強く持っています。

さらに、沖縄の置

かれた特殊事情を踏

まると、その振興

を今後ともしっかりと

と責任を持って続け

ていくことが重要で

あると考えます。そ

の際には、沖縄が真

に自立的に発展する

ために何をすべきか

という視点がぜひと



国立沖縄戦没者墓苑にて献花に望む

かり受け止めながら、沖縄の
振興、沖縄が抱える問題の解

決に力を尽くす決意です。

県民の皆様の御要望をしつ